

# 南伊豆町発！地熱資源活用によるまちづくり

人気小説家と町民が語る

## 第3回勉強会「南伊豆町の地熱の現状と未来」

2/11(水・祝) 南伊豆町役場 湯けむりホール

第3回勉強会「人気小説家と町民が語る 南伊豆町の地熱の現状と未来」は、ベストセラー『ハゲタカ』シリーズや、地熱発電をテーマにした『マグマ』などで知られる小説家の真山仁氏をお招きして、2月11日(水・祝)に湯けむりホールにて開催しました。

真山氏の基調講演「地熱が日本を救う！」に続き、町内の温泉の現況調査結果報告の後、本年度事業において住民有志が参加して検討を続けてきた「農林業」、「漁業」、「福祉」の各ワーキンググループのメンバー3名に真山氏に加わっていただき、「地熱は南伊豆町を救う!？」と題したパネルディスカッションを行いました。



### 基調講演「地熱は日本を救う!」(真山 仁氏)

- 東日本大震災以後、注目の集まる再生可能エネルギーですが、ベースロード電源(安定的な供給が可能な電源)の役割を果たせるのは地熱発電だけです。日本は地熱エネルギーのポテンシャルが高いといわれていますが、どこの地域でも恵まれているわけではなく、温泉の豊富な南伊豆町は宝物を有していること、近年、国は全国に先駆けて取組む自治体の支援をしていることもあり、今がチャンスであるとの指摘をいただきました。



### 調査報告「南伊豆町の温泉の現状」

- 温泉WGにおいて行ってきた町内の源泉の状況に関する調査結果を、事務局から報告しました。
- 南伊豆町の温泉活用の歴史は古く、ハウス栽培など農業への活用では、国内 有数の歴史を持つこと、源泉のデータが40年以上も継続して残されている温泉地は珍しく貴重な記録が残されていることなどが報告されました。



### パネルディスカッション「地熱は南伊豆町を救う!？」

- 農林業、漁業、福祉の3分野ごとに、暮らしやすい持続可能な南伊豆町にしていくためには、どんなことに取組んでいけば良いのかを発表いただきました。福祉WGからは、多世代が交流する場や機会を増やしていくことの大切さが提唱され、漁業WGでは、漁業の安定経営のためにアワビの稚貝の養殖にトライしたいこと、農林業WGでは、農林業の体験などを通して、南伊豆町の自然の素晴らしさを知る子ども達を育てていくことなどが提唱されました。



- 勉強会の最後には、真山氏から、地域資源、地熱資源に恵まれた南伊豆町が、このチャンスを逃さずに、地熱資源を活かしたまちづくりに積極的に取組んでいくべきであり、地域の活性化にむけて頑張るようエールをいただきました。